

次期総合計画原案に対するパブリックコメント及び回答

NO.	頁	意見等内容	回答
1	1	1年ごとにPDCAを回して計画の更新・見直しが必要だと考えているため、総合計画の中に「PDCA・・・」を記載した方が町民に分かりやすいと考えている。	1ページに「PDCAサイクルにより、計画期間終了まで適宜見直しを行うこととします」と記載しておりますが、その頻度は1年ごとを想定しています。なお、計画書を作成するにあたり、PDCAサイクルなどについてはさらに詳しく記載していきたいと考えておりますので、ご了承ください。
2	3	「ましこならでは」の意義が曖昧なため、「強み」が何か、「独自性」が何を指すのか、各目標内で明記されたい。また、「独自性」については観光、文化はさておき、福祉や環境、教育分野では求めなくても良いのでここで強調するのは違和感がある。	「ましこならでは」という表現については、現行の総合計画である「新ましこ未来計画」において『ましこならでは』の住みたい価値をつくる』を計画の目的に据え、取組を推進してきていることもあり、本計画において改めて注釈を加えることは考えておりません。また、「独自性」については、本計画のすべての政策・施策・具体的行動を包含するものであり、福祉や環境、教育分野においても、選ばれるまちを目指すため、本町の長所を発揮することは必要であると考えております。
3	8	「図書館を核にした複合施設の整備を進めます。」とあるが、建設は決定したのか。結論が出ていないものを総合計画に入れるのはおかしい。時期尚早なので削除すべき。サードプレイス作りも大切だが、図書館だけがサードプレイスとは思わない。	次期総合計画は、20年後、30年後のまちの将来像をしっかりと見据えたうえで今後5年間の具体的行動内容を定める町の最上位の経営計画です。ご指摘の件については、平成31年1月に「益子町図書館基本構想検討委員会」から基本構想の提出を受け、今後も様々な方々からご意見をいただきながら整備を進めていくこととなっています。町民の関心も高く、町民生活に与える影響も非常に大きい施設であることから、総合計画に明記し、検討を進めていく必要があると考えております。なお、サードプレイスという表現については、「図書館を核にした複合施設」のみを指しているわけではありませんので、ご了承ください。
4	9	優先目標3の取組内容2の具体的行動2.について、「食の学校」(仮)を開設し、町内産の農作物を活用した加工品の開発を進めます。」としているが、本事業は優先目標に位置付けられており、移住の促進という施策効果を期待したものであると考えられるため、加工品の開発だけではなく、飲食店の経営も学べる学校とすべきではないか。	現段階では、加工品の開発を「食の学校」(仮)の出発点としたいと考えておりますが、今後の展開としてご指摘いただいたような方向性も考えられるため、より幅広く取り組める表現へと改めさせていただきます。
5	20	指標「町内電気自動車等保有台数」の令和7年度のKPI「100台」は少ないのではないか。	基準値の令和元年度の台数は、電気自動車が一般的に流通し始めてから10年程度かかって到達した台数となっており、5年後である令和7年度の目標値については、決して少ないものではないと考えております。なお、次期総合計画においても、PDCAサイクルにより、計画期間中であっても具体的行動やKPIなどの見直しを行うこととしております。
6	27	施策1の説明文中「カネ」とあるが、言葉の使い方が難しい。文言の工夫を強く提案したい。	経営資源の要素とされる「ヒト・モノ・カネ」のうち「カネ」を指しているため、カタカナ表記としています。言葉により受ける印象は人それぞれであるため、ご意見として参考とさせていただきます。今後の町民向けの出版物や説明会の際には、表現を検討させていただきます。
7	28	施策2中「益子の特性」について、明記すべきである。	パブリックコメント用の計画書(案)の作り方として、注釈については原則としてその文言が最初に出てくるページに記載しており、ご指摘の件については26ページに明記しております。

次期総合計画原案に対するパブリックコメント及び回答

NO.	頁	意見等内容	回答
8	28	「令和の時代・益子の特性に合った企業誘致の推進」とあるが、どのような企業を誘致するのが読み取れないため、具体的な取組内容を明記すべきではないか。	ご指摘いただいたようなご意見の方も少なからずいらっしゃるため、具体的な行動に次の取組を追加いたします。 「研究開発系を中心に、新事業機会を創り出す企業誘致を目指します。」
9	44	「基本的方向」の5番目中「本町だけが持つ地域の特性」とは何か明記すべき。曖昧すぎて方向がどこを向いているのかわからない。	各基礎目標における「基本的方向」は「現状と課題」を踏まえたうえで定めているため、ご指摘の件につきましては、「現状と課題」の5番目に次のとおり明記しております。 「● 良好な自然環境、豊かな歴史と伝統を基盤とし、観光や農業などが加わったものが本町の魅力となっています。その地域資源を町民の財産として、次世代へ伝える必要があります。」
10	47	指標「祭りの参加者数」はどのようにカウントして算出しているのか注釈をつけるべき。根拠がない数字と誤解されないようにすべき。	同ページの注釈に明記しておりますので、ご覧ください。
11	49	「図書館を核とした複合施設の整備」については、8ページと同様の理由で削除すべきである。	【8頁に対する意見への回答に同じ】
12	53	「マシコイズム」については、まだ整理も明確化もしていないため、具体的行動にするのは乱暴に思う。それは総合計画には入れられない。議員に説明もしていないことでもあるため、担当課内で固めてから推進すればいいことではないか。	ご指摘いただいたようなご意見の方も少なからずいらっしゃるため、「マシコイズム」という言葉は用いず、一般的な言葉である(益子の)「ブランドアイデンティティ」という表現へと改めさせていただきます。